

# 一般救急医療と精神科医療のコラボレーションによる新たな臨床研修プログラム

救急医療における精神疾患対応能力の向上

社会医療法人財団  
石心会

ER型救急システムの構築を  
目指しています

医療法人財団  
青山会

精神医療の向上、身体合併症対  
応能力の向上を目指しています

心身両面に対応できる「総合診療医・総合臨床看護師」の育成プログラムを  
創設します

一般医療領域の医師・看護師の方へ

一般医療分野における精神科対  
応能力向上のための臨床研修プ  
ログラムを創設します

石心会グループでの臨床研修プログラ  
ムの一環として、青山会での一定期間  
の精神科臨床研修が可能になります

石心会川崎幸病院では初期・後期臨床研修臨床研修  
医、ER専門医・研修医、ER勤務の精神科医師の募集  
と看護職の募集を随時行っています。

精神科領域の医師・看護師の方へ

精神科領域での合併症診療  
能力向上のための臨床研修  
プログラムを創設します

青山会グループでの精神科臨  
床研修プログラムの一環として、  
石心会での一定期間の一般医  
療の臨床研修が可能になります

福井記念病院・みくるべ病院では初期・後期臨床研  
修医、精神保健指定医、精神科専門医、合併症診  
療医の募集と看護職の募集を随時行っています。

総合病院・大学病院における精神科病床の減少

川崎幸病院は、24年6月に川崎駅近くに新築・移転し、新川崎幸病院として開設いたします。現在の神奈川県の救急システムでは、1次・2次・3次という従来型のシステムは機能しなくなってきています。日本で実際に運用されている救急システムには、集中治療型と救急初期診療型があり、救急初期診療型には、各科相乗り型とER型とがあります。新川崎幸病院では、地域ネットワークの中核的救急病院として、ER型救急システムを目指します。

ER型とは、全ての救急患者に対応する救急初期診療システムで、ERで働くER専門医は全ての科の初期診療を行い、診断・初期治療・advanced triageを行います。救急現場における精神疾患対応能力の向上も一つの課題です。

このER型救急システムを目指すために、各科の医師の研修だけでなく、質の高いER専門医の確保・育成が必要であり、医師だけでなく看護職を含めた、人材育成のための臨床研修体制の充実を目指しています。

## 社会医療法人財団石心会理事長 兼 石心会川崎幸病院院長 石井 暎禧

[社会医療法人財団石心会ホームページ](#)

## 医療法人財団青山会理事長 内藤 圭之

[医療法人財団青山会ホームページ](#)

石心会狭山病院で、消化器外科医として、外科系診療部長として、救急医療を学んできました。平成8年以降、青山会の2つの精神科病院で、身体合併症診療に当たっています。精神科病院における身体合併症診療は、対象疾患の多様さ、個人因子や環境因子の多様さにおいて、極めて高度の総合診療能力が必要です。地域の一般病院や総合病院との連携による適切なトリアージも必要です。

一般病院が精神科医師を雇えばいい、精神科病院が内科医を雇えばいいといった問題ではなく、心身両面に対応できる救急医療、精神科医療の質の向上に資するシステム構築が必要と考えています。

地域の医療構造の弱点をカバーするために、地域の基幹病院である急性期病院と精神科病院とが、心身両面に対応できる医師や看護師を育成するための研修体制を創設するのが今回の取り組みです。

日本の精神科医療は、その90%近くが民間の精神科病院が担っているといわれています。研修医制度によって、初期研修において各科をローテーションするようになったことは大きな進歩ですが、精神科医療の現場も、思春期や発達障害、認知症、高次脳機能障害など幅広い対象疾患への個別対応が必要となっています。

大学病院や総合病院での精神科病床の撤退が相次いでいます。神奈川県では、近年、横須賀共済病院、横浜南共済病院、東海大学附属病院において、精神科病棟が閉鎖されています。精神科病院においての身体合併症対応の重要性が高くなっています。精神科の救急医療体制の構築も大きな課題です。

精神科に携わる医師や看護職が救急・一般病院で身体疾患を研修できるシステム、或いは、一般医療の経験を積んだ医師や看護職が精神科領域で精神科医療の研修や身体合併症診療について研修できるシステムを創設する必要性を感じています。精神科医療の質の向上のために、精神科医師の募集、身体合併症診療医の募集、看護職の募集を強力に推し進めたいと思います。

## 医療法人財団青山会 福井記念病院院長 高屋 淳彦

[福井記念病院ホームページ](#)

# 総合診療医・総合臨床看護師臨床研修プログラム

石心会(急性期病院)、青山会(精神科病院)での相互研修プログラムへの参加者を募集します  
研修の一定期間、それぞれの法人に在籍することを原則とします  
給与条件などはそれぞれの法人規定によります

## 医師の相互研修プログラムの参加について

青山会在籍時の医師の勤務要件 (石心会への研修期間は、石心会の法人規定になります)  
長期研修は1年間～2年間を目安にします(それ以外の期間の希望は相談に応じます)

週間単位や月数単位での短期研修についても相談に応じます

勤務日数 週4回勤務～5回勤務

勤務形態 常勤勤務

勤務病院 福井記念病院、または、みくるべ病院

給与 当法人規定により優遇します

経歴年数や勤務日数により相談に応じます。日・当直手当は基本給と別途に支給します

身体合併症の指導は、福井記念病院診療部長 渡辺佳哉医師 なのはな苑施設長 小野重五郎医師、青山会理事長 内藤圭之医師が責任をもってあたります

## 看護職員等の相互研修プログラムの参加について

研修期間は原則としてそれぞれの法人に在籍し、それぞれの法人の規定によります。

青山会在職時の待遇は、[職員募集のページ](#)を参照して下さい

長期研修は6ヶ月～1年間を目安とします。

週間単位や月数単位での短期研修も相談に応じます。

看護職員の受入れは当面福井記念病院での受け入れとします

看護職の指導は、中庭副院長兼看護部長と須藤、奥田、田嶋副部長があたります

## 問い合わせ

医療法人財団青山会本部 総務部長 日影 永子 福井記念病院 事務長 白木 克典

メールでも電話でもお気軽にお問い合わせください

〒238-0115 神奈川県三浦市初声町高円坊1040-2

TEL 046-888-2145 FAX 046-888-5870

E-mail [seizankai@bmk.or.jp](mailto:seizankai@bmk.or.jp)